

～歴史と伝統を守り現在まで伝承されてきました～

無形民俗文化財 を見に行きませんか？

問 郷土博物館 ☎23-6859



青梅のフセギのワラジ

(都指定・岩蔵地区)

日時 7月21日(日) 午後1時～3時

会場 岩蔵御嶽神社神楽殿

※ワラジ編み終了後、小布市との境、富岡との境に各2か所、
古武士との境、成木の中里との境に各1か所の計6か所に
ひとつずつ吊るします。

青梅のフセギのワラジ (都指定・谷野地区)

・ワラジ作り

日時 7月21日(日) 午前10時30分～午後0時30分

会場 谷野自治会館

・ワラジ飾り付け(辻立て)

日時 8月4日(日) 午前9時30分～10時30分

会場 十王堂、塩船との境、大門との境、今寺との境、小曾木との境に各
1か所、木野下との境に2か所の計7か所にひとつずつ吊るします。



沢井の獅子舞 (都指定)

日時 7月28日(日)

会場 沢井八雲神社

・宮参り巡行 午前8時に沢井八雲神社を出発
・獅子舞 ①午前9時30分～11時
②午後1時30分～4時30分

武蔵御嶽神社の太々神楽 (都指定)

日時 7月28日(日) 午後8時から 夜神楽

会場 武蔵御嶽神社神楽殿

※詳細は武蔵御嶽神社 ☎78-8500へご連絡ください。



今年の夏は #OmeBlue で決まり！！

問 シティプロモーション課観光係

Ome Blue®

Ome Blueは誰もが参加できる地域プロモーションです。スタートから約5年が経過しました。現在も青梅の写真や動画を通して魅力を伝えています！皆さんのいいねやフォロー、お待ちしています！

Ome Blue (青梅ブルー) 公式Instagram
アカウント (@omeblue.tokyo) は2次元コードから！
<https://www.instagram.com/omeblue.tokyo/>



青梅の風景やお気に入りの場所を
#OmeBlueをつけて
アップしよう！

「リラックスヨガ」教室

リラックスヨガは、からだの柔軟性や筋力を高めるベーシックなヨガです。優しくからだをほぐして、健康なからだを目指しましょう！

日時 8月1日～29日の木曜日

※15日は除く

①午前10時30分～11時45分

②午後1時～2時15分

会場 御岳交流センター交流室

対象 初心者の方

定員 各回先着15人

費用 1回500円

服装 運動しやすい服装

持ち物 飲み物、汗拭きタオル、ヨガマット
(貸出あり)

申し込み 電話 ☎79-0720 または直接
御岳交流センターへ

青梅市の文化遺産91

天寧寺開闢記

文化財保護指導員 沖 祐昭

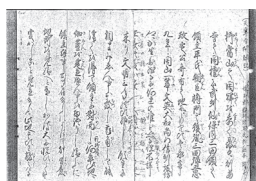
「天寧寺開闢記」は、根ヶ布天寧寺の開創にまつわるエピソードを記した前半部と、伝説や霊異の類をまとめた後半部により構成されています。

これは、ひとりの著者が書き記した本ではなく、何代にも渡り付け足しを重ねて成立していったもので、執筆が終了したのは文中にある年号から推察して天明8(1788)年頃ようです。

それでは、執筆開始時期はいつ頃なのでしょう。前半部のほとんどは開山和尚(初代の住職)一華文英の徳をたたえる内容になっていますが、冒頭に「然るに何れの誰といへる性不詳」と和尚の出自については皆目分らないと記されています。

しかし一華文英をはじめ曹洞宗雲岫派の重鎮の詳細な列伝を集めた「妙亀譚語集」が享保6(1721)年に甲州広厳院より発行されており、その初版が天寧寺に現存していることから、開闢記の冒頭部については「妙亀譚語集」が開版される以前に書かれたものであると思われます。

開闢記の原本は戦後、紛失し行方知れずとなっていますが、平成7(1995)年に郷土史家の故峰岸久夫氏が写本を元に口語訳と解説を付け加えて編さんしたものが、青梅市中央図書館に所蔵されており閲覧できます。



問 郷土博物館 ☎23-6859

青梅市吉川英治記念館×住友金属鉾山アリーナ青梅 連携事業

記念館で朝の「のびのびヨガ」

開館時間前の朝に青梅市吉川英治記念館で初心者向けのヨガ教室を行います。

日程 7月24日(水)

時間 午前9時～9時50分

会場 青梅市吉川英治記念館展示館ロビー

対象 市内在住・在勤の方

講師 ヨガインストラクター 坂田 恵氏

定員 先着10人

費用 700円(年間パスポート提示の場合500円)

※当日徴収

※教室終了後、記念館を見学する場合は、別途入館料が必要

服装 運動しやすい服装

持ち物 タオル、飲み物、ヨガマット(お持ちの方)

申し込み 7月17日の午前10時から電話 ☎74-947
7で同記念館へ(午前10時～午後5時)

